

# サンクチュアリセンターニュース

# 賀正

vol.91

平成30年1月号

新年明けましておめでとうございます。  
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## GPS送信機によるカモ、ハクチョウの追跡開始

NPO法人バードリサーチとの共同研究で、カモとハクチョウの詳細な行動を把握するため、マガモ2羽、オナガガモ3羽、オオハクチョウ5羽にGPS送信機を装着して追跡を12月中旬から開始しています。鳥にできるだけ影響のない方法でアンテナ付きの送信機を背中に装着しています。矢がささっているわけではありませんので、ご安心ください。

今のところ、オオハクチョウ5羽は伊豆沼南岸付近を中心に動いているようです。これからの追跡が楽しみです。



GPS送信機を装着したマガモ

## ガンの飛び立ち観察会 & 沼歩き観察会

12月2日にガンの飛び立ち観察会 & 沼歩き観察会が行われました。沼歩きでは、伊豆沼と内沼をつなぐ浄土川沿いを歩きながら、いろいろな鳥たちを観察しました。オジロワシやオオタカのような猛禽類からタゲリ、ホオジロなど水田やヨシ原でさまざまな鳥たちを観察して楽しみました。伊豆沼・内沼はガンカモ類で有名ですが、ほかにも多くの鳥たちがいて、この時期、1日歩けば60種程度は観察できます。

浄土川沿いでは田んぼにいるハクチョウの群れの他、様々な鳥たちが見られました。(写真)





## 大学の實習も伊豆沼で受け入れております

当センターでは、大学の實習なども受け入れています。先日は、東北大学や石巻専修大学の学生さんが、授業の一環で伊豆沼で實習や講話を受けました。水産学を学ぶ学生さんは、沼で捕まえた魚でカマボコを作るなど、ユニークな活動を行っていました。講話では、専門家でもすぐには出てこないような鋭い質問もあり、驚かされると同時に質問をした学生さんの将来が楽しみになりました。財団には鳥類や魚類、植物学の博士号を持つスタッフが所属しています。専門家として、沼で行われている最先端の研究や、保全活動を体験する機会を提供できることは心から嬉しい話で、今後も實習の場を提供していきたいと思っております。



實習・講話を聞く石巻専修大学(左・中央)と東北大学(右)の学生。メモを取りながら、真剣に耳を傾けていました。

## 第23回伊豆沼・内沼絵画展を開催しています

12月24日(日)より、サンクチュアリセンター1階ホールにて伊豆沼・内沼の自然のよさを知り、自然保護の意識啓発を図ることを目的とした第23回伊豆沼・内沼絵画展を開催しています。

絵画展では、伊豆沼・内沼がさまざまに表現されており、四季折々の美しさを堪能いただける32点の作品が出展されました。

開催日時は以下のとおりとなっております。

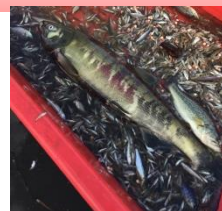
期間:平成29年12月24日(日)～平成30年1月20日(土)  
午前9時～午後4時30分(最終日は12時まで)  
会場:伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター1階ホール



「木道から見た風景」  
渡辺綾夫 (栗原市若柳)

## 伊豆沼・内沼生き物図鑑 シロザケ

海から40kmほど内陸に位置している伊豆沼・内沼には、秋になると北上川から迫川を経てサケが遡上してきます。今年も伊豆沼・内沼のあちこちでサケの姿が見られました。日本で見られるサケの仲間にはシロザケ、ギンザケ、ベニザケなどがありますが、宮城県に遡上するサケはすべてシロザケという種類です。伊豆沼・内沼では水量が多い年ほど多くサケが堰を上って来るようです。サケは産卵を終えると死んでしましますが、その死骸を鳥が食べ、森でフンをし、土に栄養が供給されることで豊かな土地を育みます。サケが帰ってくる伊豆沼・内沼の豊かな自然を守っていききたいと思います。



### <事務局>

〒989-5504宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2  
(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団  
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217

ホームページ:<http://izunuma.org/>  
E-mail:[izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)